

## 第2回



# いわきスマートタウンモデル地区推進会議

### 協議事項

- (1) これまでの取り組みについて . . . . . P 1
- (2) 市民等を対象とした体験型説明会の開催について . P 8
- (3) 基本戦略検討のポイントについて . . . . . P 9
- (4) 公募要件検討のポイントについて . . . . . P15
- (5) 今後の進め方について . . . . . P16



令和3年8月5日（木）  
いわき市役所 8階 第8会議室





# (1) これまでの取り組みについて



## ① いわきスマートタウンモデル地区推進事業の概要

### 事業の位置付け

### いわき市まちづくりの基本方針 (R3.2)

“誰もが「住んで良かった、住み続けたい」と思える魅力にあふれた「いわき」”

### 第2期いわき創生総合戦略 (R3.3)

〈3つの重点推進モデル〉

- ・ ダイバーシティと共創のまちづくり
- ・ **Society5.0と持続可能な地域社会の実現**
- ・ 自治体間連携とネットワークの強化

#### 〈12の政策パッケージ〉

- ・ グローカル人材育成PJ
- ・ 結婚・出産・子育てPJ
- ・ いわき総活躍PJ
- ・ 医療ヘルスケアPJ
- ・ **スマートシティ推進PJ**
- ・ いわきブランディング・プロモーションPJ
- ・ リビングシフトPJ
- ・ 地域ストック活用PJ
- ・ 文化・スポーツのまちづくりPJ
- ・ 次世代産業・サービス育成PJ
- ・ 稼げる農林水産業PJ
- ・ 起業家支援・地域企業力アップPJ

### スマートシティ推進PJ 構成する施策

- ・ Society5.0への対応
- ・ **スマートタウンの推進**
- ・ スマートモビリティの推進
- ・ スマートライフの推進
- ・ スマートガバナンスの推進
- ・ スマートエネルギーの推進



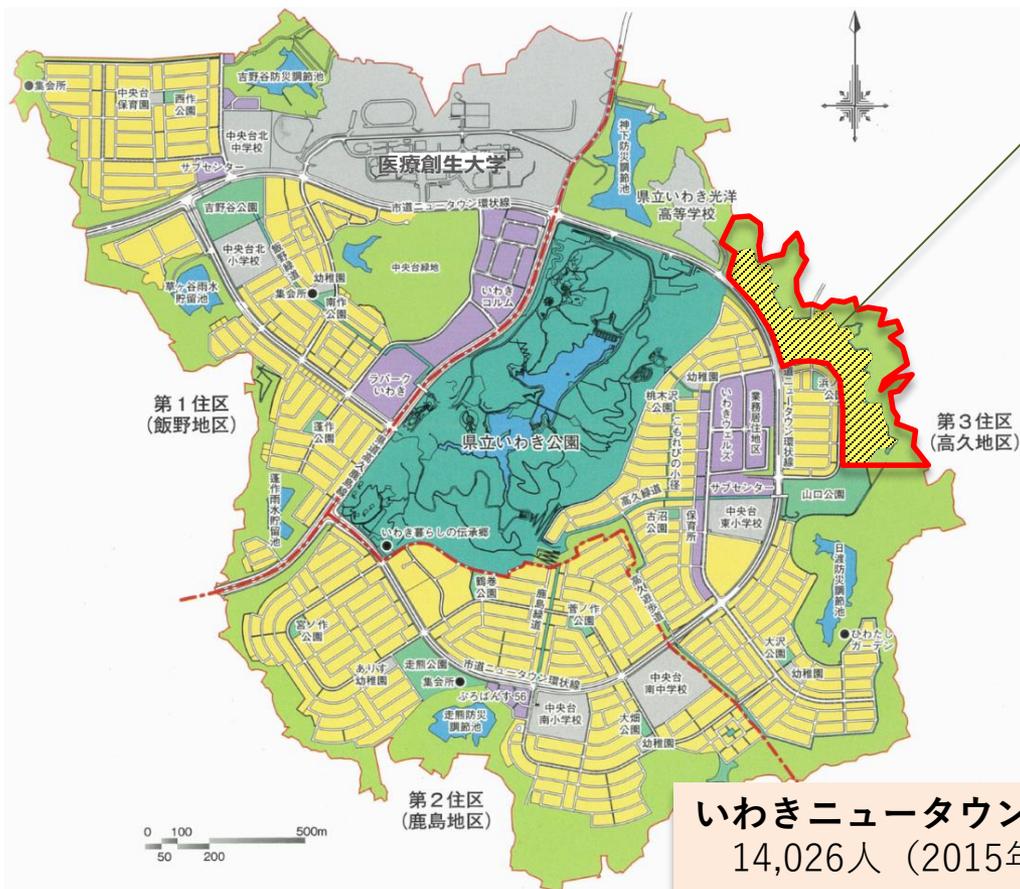
# (1) これまでの取り組みについて



## ① いわきスマートタウンモデル地区推進事業の概要

### 事業の対象地

- 市土地開発公社の所有地（グリーンフィールド型拠点）を**拠点エリア**に、いわきニュータウン地区全体を**スマートタウンモデル対象地**とし、官民共創のもと、スマートシティの導入の取り組みと一体となった開発を進める。



いわきニュータウン全体人口  
14,026人（2015年国勢調査）

図 いわきニュータウン地区全体図（面積約530ha）

**拠点エリア（市土地開発公社所有地）**



図 拠点エリア



# (1) これまでの取り組みについて



## ① いわきスマートタウンモデル地区推進事業の概要

### 開発の基本的な考え方

- ネットワーク型コンパクトシティ形成を推進する市立地適正化計画では、いわきニュータウン地区に日常サービス施設を誘導する都市機能誘導区域と、一定の人口密度の維持・誘導を図るまちなか居住区域を指定している。
  - 市立地適正化計画のまちづくりの方針「人口構造を改善する都市機能を誘導し、“選ばれる都市へ”」に則し、主に市内外の若い世代をターゲットに、**多くの世代の方に居住地として生涯生活してもらうモデル地区となるような開発とする。**
- 市立地適正化計画では「若い世代の流出抑制」「過度に車に頼らない日常生活の確保」「第二次、第三次産業の活性化」を主な課題に設定。また、地区には地区ならではの具体的な課題もあり、複雑化する課題の解決の手法として、革新的なデジタルテクノロジーを活用したスマートシティの取り組みが求められている。
  - **地区全体や市全域へ波及するスマートシティの取り組みや、with/afterコロナに対応した都市空間を形成するような先導的な開発とする。**
- スマートシティは新しいサービスの創出（導入）により課題解決を図るアプローチ。本格導入（実装）に向けては様々なステークホルダーを巻き込みながら、問題点や共感するところを見極めて、どんな解決策やサービスを提供するのかを複合的に導き出していく必要がある。
  - **将来的なマネジメント（運営主体、資金の調達・回収）も見据え、造成と同時に各プロジェクトを実施するコンソーシアムを形成し、データの分析・検証と改善を繰り返す戦略的な開発とする。**



# (1) これまでの取り組みについて



## ① いわきスマートタウンモデル地区推進事業の概要

### 開発の進め方

- いわき市が整備方針「基本戦略（開発ビジョン）」を策定し、これに則した開発計画（案）（ハード・ソフト）を民間公募。

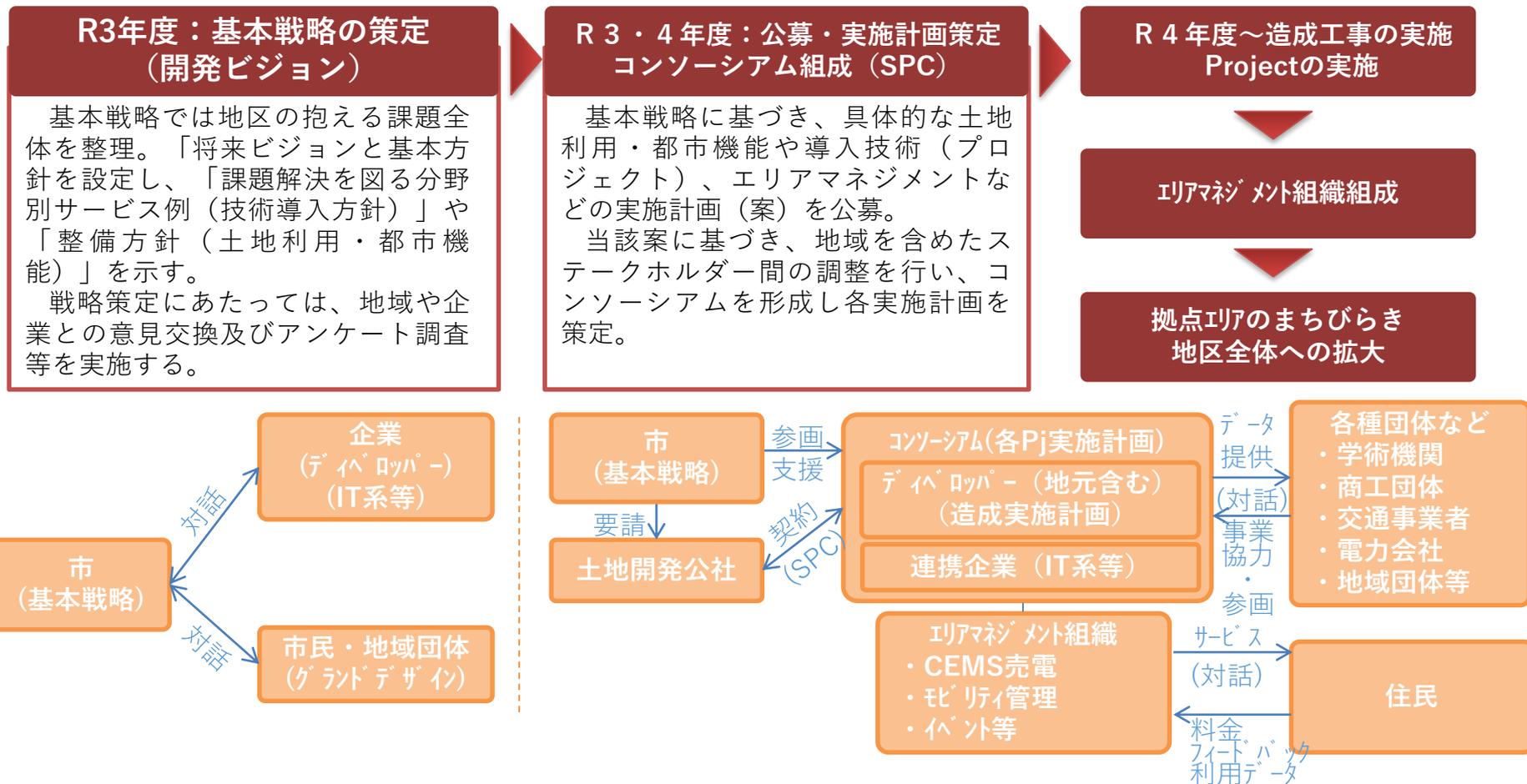


図 開発の進め方と体制イメージ



# (1) これまでの取り組みについて



## ① いわきスマートタウンモデル地区推進事業の概要

### スマートシティ推進等の原資

- 土地譲渡費を土地開発公社が取得に要した費用と同等程度とすることで、宅地開発にあわせスマートシティの取り組みを導入

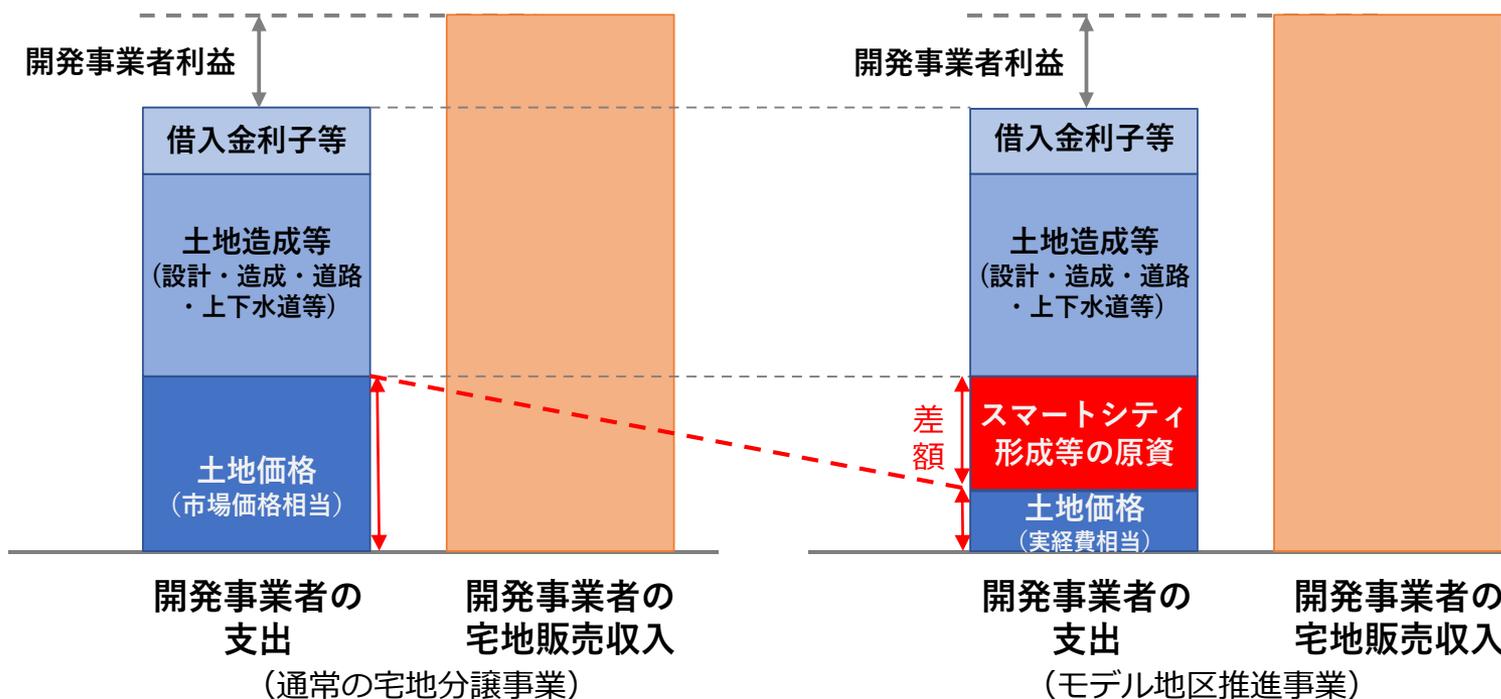


図 スマートシティ推進等の原資のイメージ



# (1) これまでの取り組みについて

## ① いわきスマートタウンモデル地区推進事業の概要



### 事業者参画奨励施策

#### ① 都市計画変更及び都市機能誘導区域等の変更

- ・現在の用途地域（第一種低層住居専用地域）では建築物が住居系に限定されるため、選定した事業者の提案内容を尊重し、弾力的に都市計画変更を検討
- ・同様に、都市機能誘導区域への編入についても検討（現在、まちなか居住区域のみ）

#### 【まちなか定住促進事業】

- 補助対象：市外から移住者が、まちなか居住区域内の住宅取得等に要する費用
- 補助率：1/2
- 補助上限額：150万円（県外）  
130万円（市外）

#### 【都市機能誘導施設等整備促進事業】

- 補助対象：都市機能誘導区域内での誘導施設の新築又は増築、改築等の費用
- 補助率：1/3
- 補助上限額：新規立地 1億円  
維持・更新5千万円

#### ■ 誘導施設

都市機能	誘導施設の種類
医療	病院、地域医療支援病院
	診療所（産科、小児科）
子育て	幼稚園、保育所、認定こども園
教育	小学校、中学校、高等学校
	専修学校
	短期大学、大学
文化	図書館
	博物館
	複合型スポーツ施設
高齢福祉	サービス付き高齢者向け住宅
健康増進	健康増進施設
商業	生鮮食品等を扱うスーパー等
	総合スーパー
	宿泊施設（温泉旅館・ホテル）、 コンベンション施設
事業所	娯楽施設（総合ファミリアムト施設）
	業務施設等
20戸以上の共同住宅	

※該当する施設は地区で異なる

#### ② 福島イノベーション・コースト構想の推進に係る特例措置

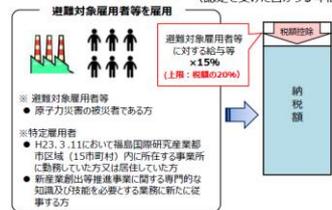
- ・イノベ構想の重点分野に係る新製品の開発等について、設備投資、被災者等の雇用、研究開発を行う場合における課税の特例（拠点エリアを新産業創出等推進事業促進区域に指定）

- 重点分野：①廃炉、②ロボット・ドローン、③エネルギー・環境・リサイクル、④農林水産業、⑤医療関連、⑥航空宇宙

#### ■ 特例の内容

##### ● 避難対象雇用者等を雇用する場合

認定を受けた個人事業者または法人は、避難対象雇用者等または特定雇用者※に対する給与等支給額の15%を税額控除（認定を受けた日から5年間）



（注）上記「避難対象雇用者等を雇用する場合」と「設備投資を行う場合」の税額控除は選択適用。

##### ● 設備投資を行う場合

認定を受けた個人事業者または法人が、新産業創出等推進事業の用に供する機械・装置、器具・備品及び建物等を取得した際の特別償却または税額控除

特別償却	選択適用	税額控除
機械・装置 器具・備品	即時償却	15%
建物、構築物	25%	8%

申請により、事業税、不動産取得税、固定資産税の減免も可能

##### ● 開発研究用資産への投資を行う場合

認定を受けた個人事業者または法人が、開発研究用資産の即時償却に加え、当該即時償却の対象となる開発研究用資産の償却費について研究開発税制を適用する場合には、特別試験研究費とみなして税額控除

#### ③ その他（関連する国等の支援制度の活用についても事業者公募時に提案を受付けて対応を検討）



# (1) これまでの取り組みについて



## ② 検討の経過

### 令和元年度

R元. 9月 いわきスマートシティ勉強会の設置・第1回会議の開始  
 R元.12月 スマートシティの技術を有する企業へのアンケート調査  
 R2. 9月 第2回いわきスマートシティ勉強会の開催

### 令和2年度

R2. 9月 いわきスマートシティ市内推進会議の設置・第1回会議の開催  
 R3. 1月 第2回スマートシティ市内推進会議の開催

### 令和3年度

R3. 4月 いわきスマートタウンモデル地区推進会議準備会の開催  
 R3. 5月 いわきスマートタウンモデル地区推進会議の設置  
 第1回会議の開催（書面開催）  
 （内容：事業概要の説明、意見交換を行う関係団体の確認）  
 R3. 6月～ 関係団体との意見交換 ⇒ 「資料2」を参照

- ・中央台地区区長会連合会
- ・中央台みらい会議
- ・いわき商工会議所
- ・福島県宅地建物取引業協会
- ・いわき青年会議所
- ・ニュータウンセンター
- ・福島工業高等専門学校



中央台地区区長連合会との意見交換

※今後、いわき経済同友会や医療創生大学等と意見交換を予定



## (2) 市民等を対象とした体験型説明会の開催について



### 開催の趣旨

来場者にタブレットによる動画視聴やアンケートの回答、スマート技術の体験をしてもらうことにより、**スマートシティと当該事業に対する意識醸成を図る**と同時に、地区住民や市民全体から幅広く参加や意見を募るため、体験型説明会（オープンハウス）を開催するもの。

### 開催の概要

#### <会場>

いわき産業創造館、中央台公民館

#### <内容>

- ・タブレット端末での動画視聴 各5～10分の動画  
(市が目指すまちづくりの説明等) ⇒ 「資料3」を参照
- ・Webアンケートへの回答 ⇒ 「資料4」を参照
- ・Web会議の体験（各会場と市役所を繋ぎ、意見交換）
- ・スマート技術の展示

#### <開催時期>

8月22日（日）、23日（月）10時から16時

⇒ **新型コロナウイルスの影響により、  
延期（9～10月頃を予定、会場についても検討中）**

**スマート社会を見据えた**  
いわき市のまちづくりについて皆さまのお考えをお聞かせください

本市では、令和3年3月策定の「第2期いわき創生総合戦略」において、「Society5.0と持続可能な地域社会の実現」を重点的取り組みの一つに掲げており、現在、いわきニュータウン地区をモデル地区に、スマートシティの実装に向けた検討を進めています。

---

**オープンハウス（体験型説明会）** 8/22～8/23 入場  
無料

いわき市のまちづくりについて、オープンハウスを開催します。会場では、パソコンやタブレット端末を用いた動画視聴や、リモート会議の疑似体験が行えます。お気軽にご参加ください。

<p><b>いわき産業創造館</b> いわき市平字田町120番地 LATOV6階 企画展示ホール 日時① <del>8月22日(日)10時～16時</del> ② <del>8月23日(月)10時～16時</del></p> 	<p><b>中央台公民館</b> いわき市中央台飯野四丁目5-1 大会議室(1)/2 日時① <del>8月22日(日)10時～16時</del> ② <del>8月23日(月)10時～16時</del></p> 
--	--

● いずれの会場も同一の内容になりますので、ご都合のよい会場・お時間にご参加ください。  
● 新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用や入口での検温にご協力ください。また、入場制限を行う場合があります。予めご了承ください。

---

**アンケート調査** 8/22～8/31 10分  
程度

いわき市のまちづくりについて、皆さまのお考えをお聞きするため、アンケート調査を行います。10分程度で回答できるWebアンケートになりますので、ご協力をお願いします。

<p><b>調査期間</b> <del>8月22日(日)～8月31日(火)</del></p>	<p><b>主な調査項目</b> 質問①あなたが感じるいわきらしさ 質問②あなたが感じる生活する上での課題</p>
---	---

● アンケートの回答フォームは8月22日に公開(アクセス可能)となります。  
● Webでの回答が難しい方は下記の問い合わせ先に 回答用紙を用意しておりますので、そちらで記入の上、提出してください。  
● 上記のオープンハウスの開催時間中は、会場でも回答できます。




いわきスマートタウンモデル地区推進会議(事務局 いわき市都市計画課)  
〒970-8686 いわき市平字梅本21番地 電話 0246-22-7513



### (3) 基本戦略検討のポイントについて



#### ① 基本戦略の位置づけ

##### 基本戦略の策定

基本戦略は、スマートタウンを実現するため、**望ましい開発の方向性（開発ビジョン）**を示すもの。

公募要領の作成

民間事業者からの実施計画案の提案

##### 【基本戦略の構成（案）】

1. 基本的事項
2. 地区のプロフィール（地区の概要、課題）
3. 開発ビジョンと基本方針
4. 課題解決に向け導入を図るスマート技術等
5. 整備の方針
6. エリアマネジメント
7. スケジュール

基本戦略に即した提案が受けられるように公募要件を検討。

社会背景や課題、アンケートの調査結果等を踏まえ、開発ビジョンと基本方針（取り組みの方向性）を設定し、導入を図るスマート技術や整備方針を示す。

※第1回会議でイメージを提示



# (3) 基本戦略検討のポイントについて

## ② 土地利用計画イメージ（拠点エリア）



- 新規に開発する拠点エリアについては、基本戦略の中で、導入を図る機能や土地利用をイメージで示すことが想定される。
- 具体的には民間事業者からの提案を受けて決定することに留意し、基本戦略の段階でどの程度のレベルのものを示すか。

パターン①：具体のゾーニング（土地利用）まで示す



パターン②：導入機能・整備の方針まで示す



### 拠点エリア

- 地区全体の住み替えを促進する居住機能の導入
- スマートサービスを提供する拠点の形成
- with/afterコロナに対応したオープンスペースの配置
- エネルギーマネジメントの導入など

※当該機能以外を除外するものではありません

※パターン①②とも本会議における資料のため作成したイメージ

スマートシティという新たな取り組みを進める上では、  
民間事業者から幅広い提案をもらえることが重要なポイント  
(公募要件にも大きく関わる)



# (3) 基本戦略検討のポイントについて



## ③ 導入を図るスマート技術の例

- 基本戦略の「課題解決に向け導入を図るスマート技術等」においては、拠点エリアや地区全体において、どのようなサービスが考えられ、それがどのような課題解決につながるかを示すこととなる。

<安全・安心・健康・暮らし>

<防災・環境>

<成長・活気>

**安全**  
(セキュリティ)

**健康**  
(ウェルネス)

**防災**  
(レジリエンス)

**エネルギー・環境**  
(サステナブル)

**移動**  
(モビリティ)

**物流**  
(ロジスティクス)

**教育**  
(エデュケーション)

**生活・労働**  
(リビング・ワーキング)

**共有**  
(シェアリング)

**買物・観光**  
(ショッピング・アクティビティ)

**製造**  
(メーカーズ)



どの分野・取り組みに重点を置くかが重要なポイント  
(公募要件にも大きく関わる)

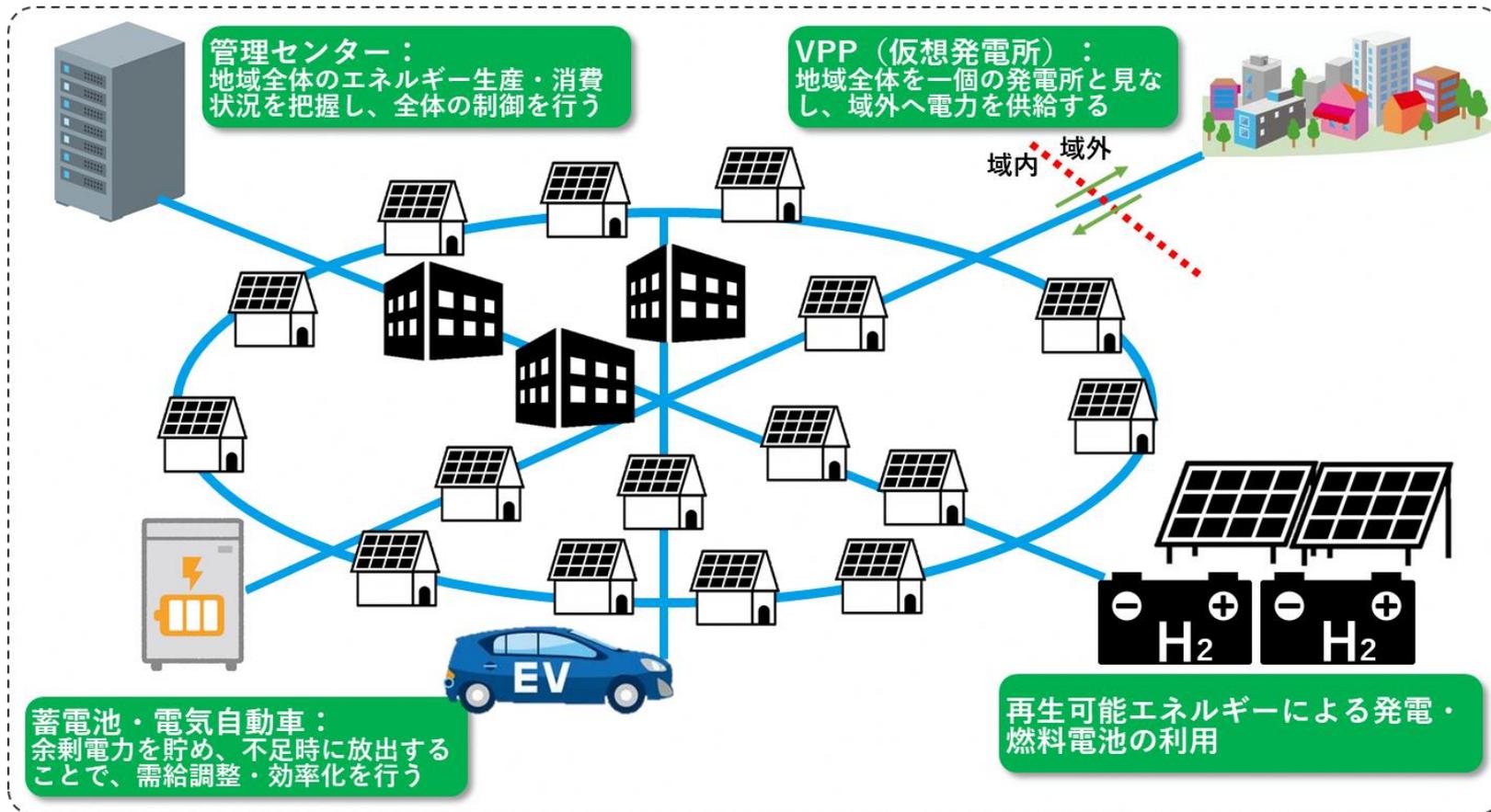


# (3) 基本戦略検討のポイントについて



## ③ 導入を図るスマート技術の例

- エネルギーマネジメント



[関連するSDGs]

[解決が図られる課題・QOL（生活の質）の向上]

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	13 気候変動に 具体的な対策を

- エネルギー利用効率化・再生可能エネルギー利用によるCO2排出量の削減
- 売電を通じた地域活動のための資金の獲得

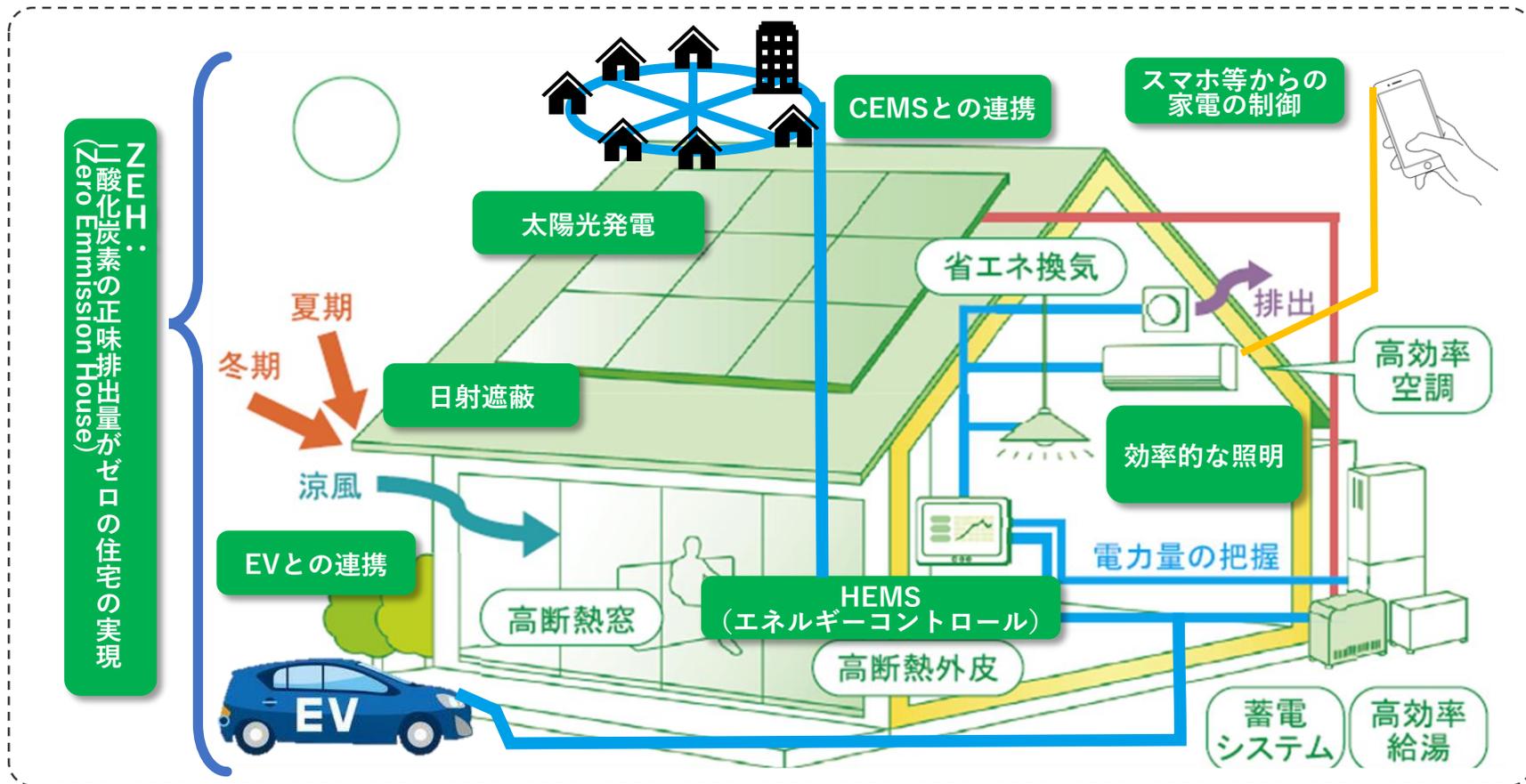


# (3) 基本戦略検討のポイントについて



## ③ 導入を図るスマート技術の例

- スマートハウス



[関連するSDGs]

[解決が図られる課題・QOL (生活の質) の向上]

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	13 気候変動に 具体的な対策を

- エネルギー利用効率化・再生可能エネルギー利用によるCO2排出ゼロ化
- 光熱費の削減による家計の改善
- 生活利便性の向上

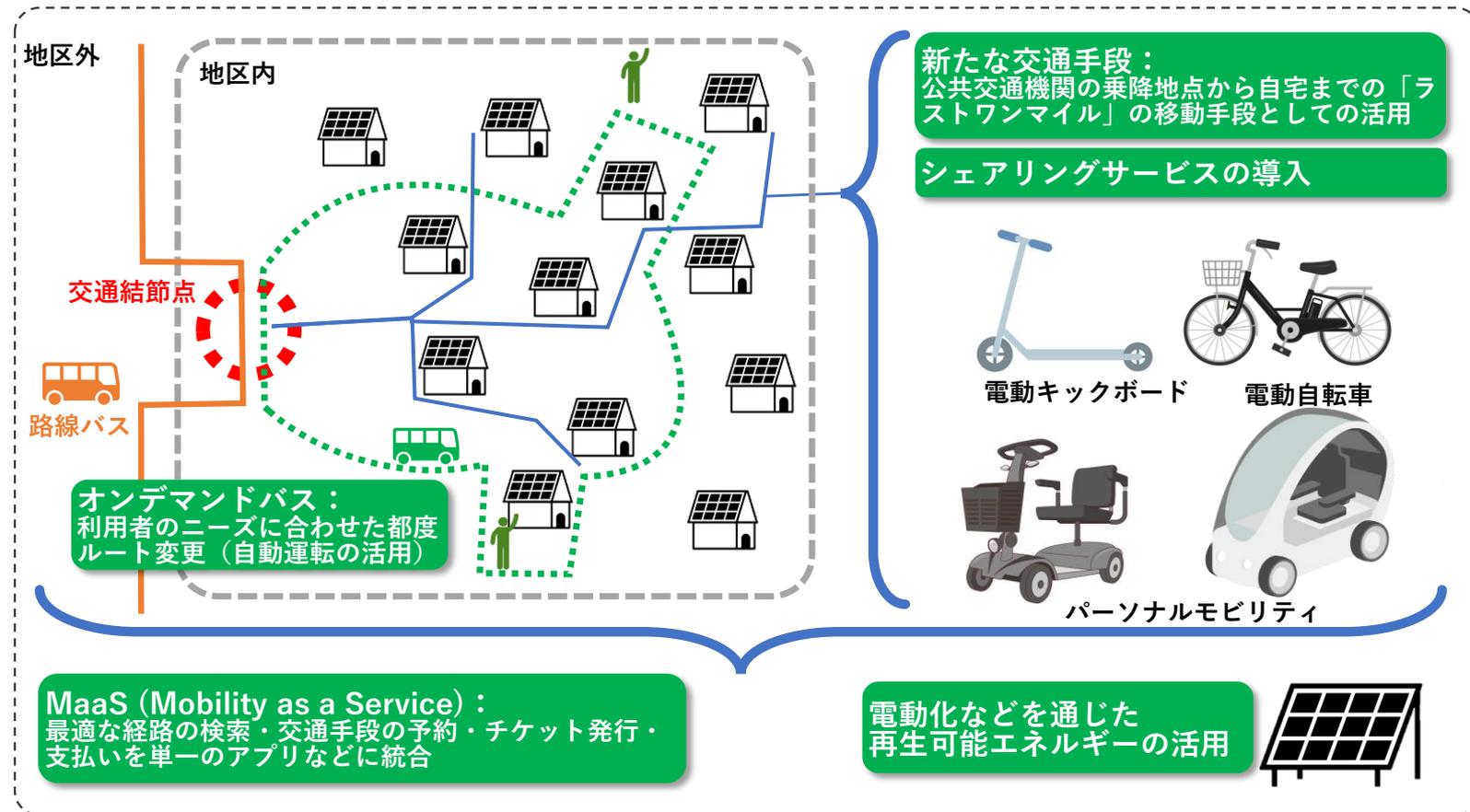


# (3) 基本戦略検討のポイントについて



## ③ 導入を図るスマート技術の例

- 交通のスマート化



[関連するSDGs]



[解決が図られる課題・QOL（生活の質）の向上]

- 公共交通利用拡大による渋滞の緩和・CO2排出量の減少
- 高齢者等交通弱者の外出の促進による健康増進

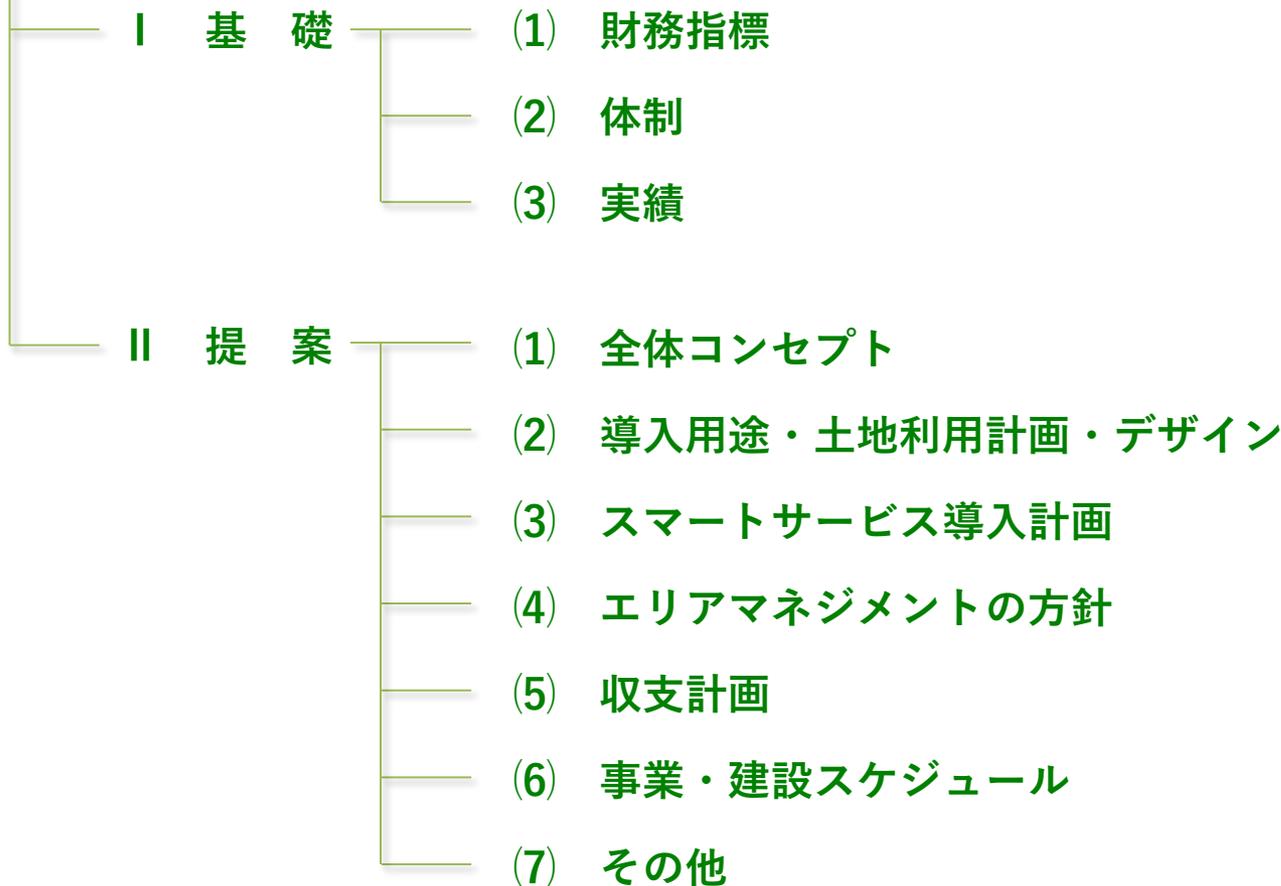


## (4) 公募要件検討のポイントについて



### 公募要件の 構成 (案)

- 策定する「基本戦略（開発ビジョン）」に則した提案を民間事業者から受け、よりよい事業計画（案）が選定できるよう検討



「資料5」を参照

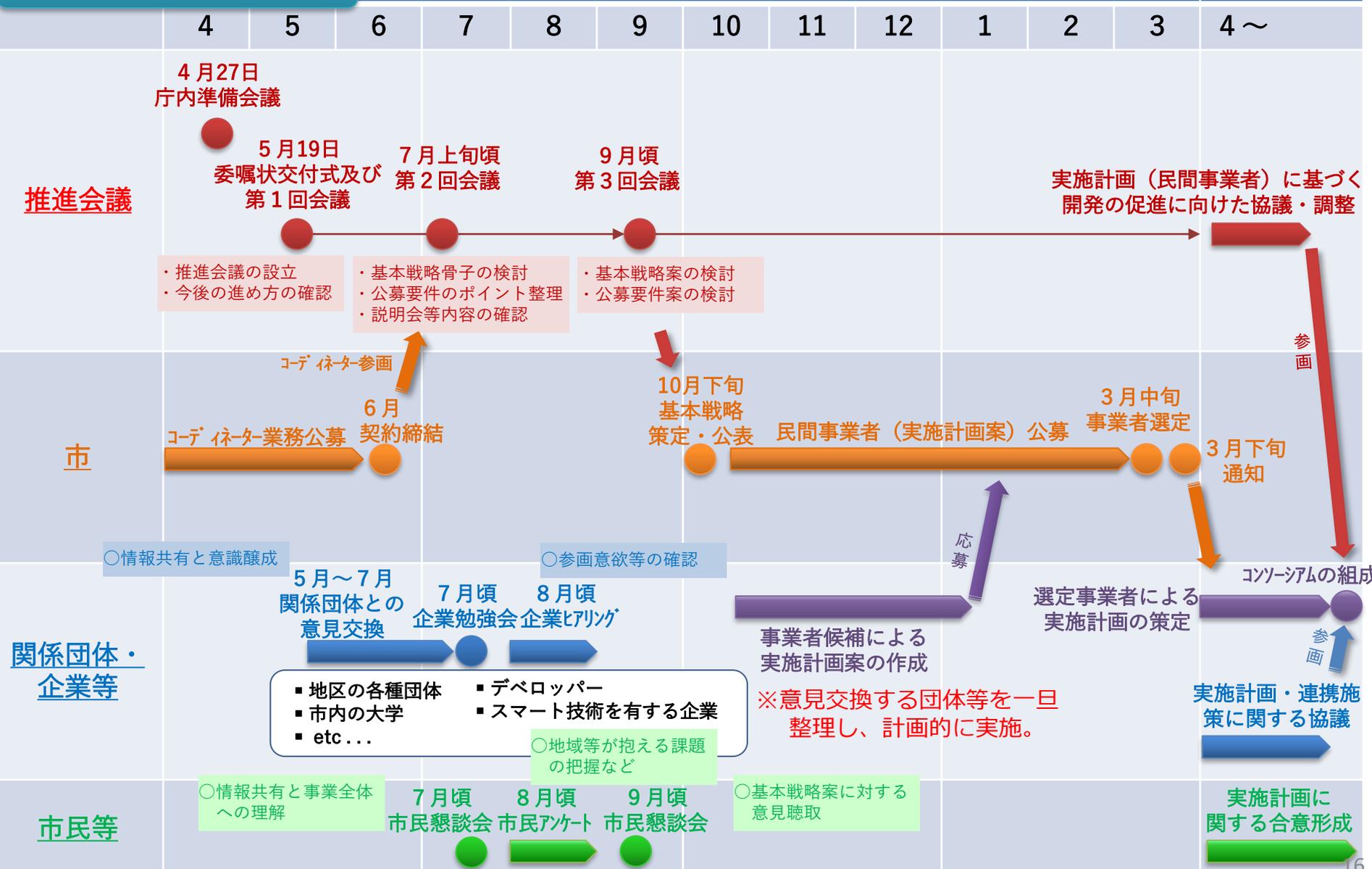
# (5) 今後の進め方について



## 変更前スケジュール

令和3年度

令和4年度



# (5) 今後の進め方について



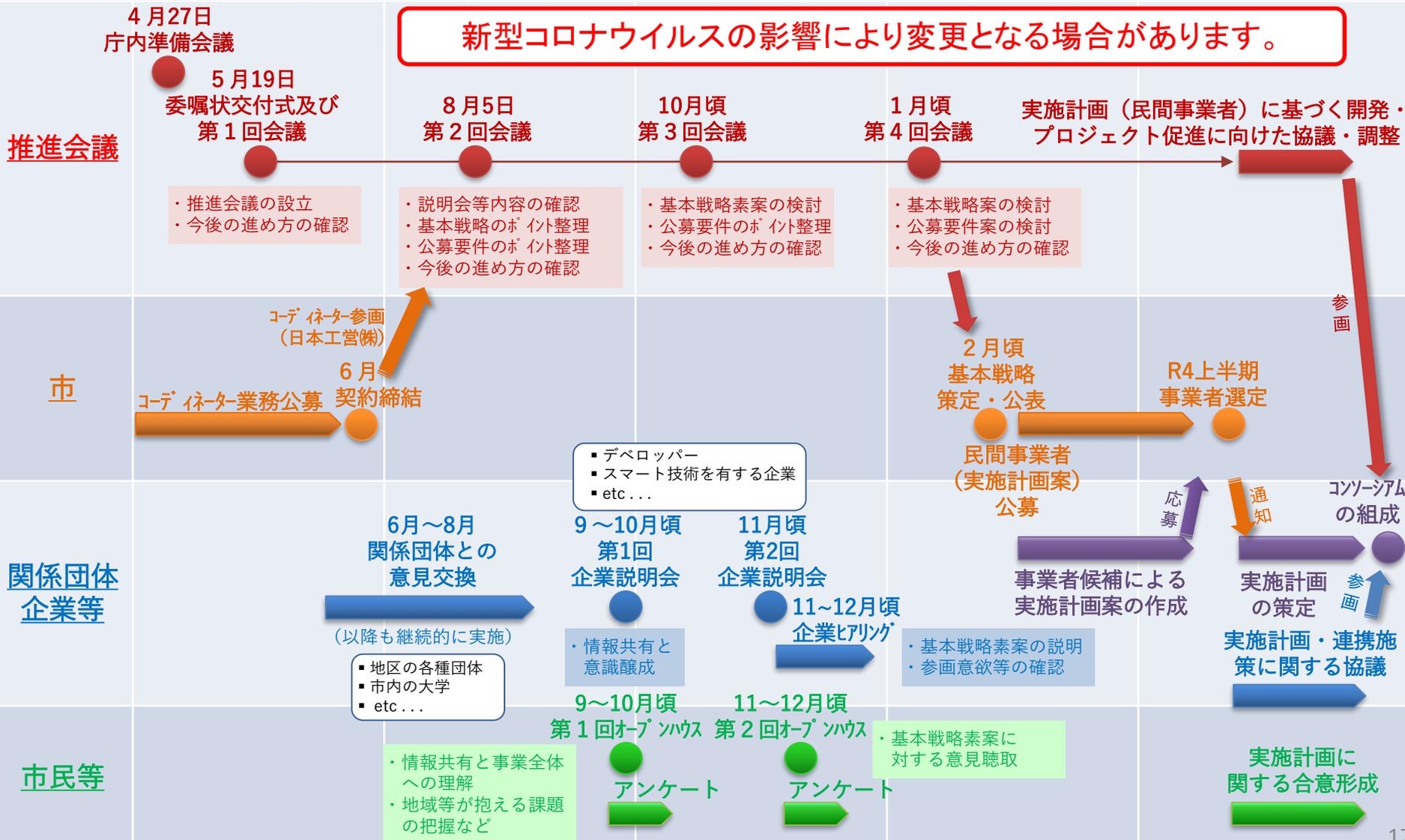
## スケジュール変更案

令和3年度

令和4年度

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4~

新型コロナウイルスの影響により変更となる場合があります。





お し ま い

